

## (4) そのほかの主な取り組み

### 福祉・保健予防 の取り組み

| インフルエンザ予防接種推進事業 | 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |       |
|-----------------|------|---------|--------------|-----|-----|-------|
|                 |      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源  |
|                 | 19年度 | 2,774   |              |     |     | 2,774 |
|                 | 20年度 | 3,078   |              |     |     | 3,078 |
| 〈担当：保健介護課〉      | 21年度 | 2,624   |              |     |     | 2,624 |

インフルエンザ予防接種への関心を高め、予防接種を広く普及させることを目的として、0歳から65歳未満の市民を対象として、予防接種費用の一部を補助しました。

【事業の実施状況】  
市内の医療機関でインフルエンザ予防接種を受けた場合に、その費用を500円補助する助成券を7,264枚発行し、その内5,248枚(4,143人)が利用されました。(利用率72.2%)  
また、65歳以上の方は、従前からのインフルエンザ予防接種広域化事業により1,000円の自己負担で予防接種を受けることができます。平成21年度の接種者は4,185人で、本事業と合わせると市民の28.5%がインフルエンザ予防接種を受けたことになります。  
(実施期間)平成21年10月20日～平成22年1月31日

| 新型インフルエンザワクチン接種推進事業 | 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |       |
|---------------------|------|---------|--------------|-----|-----|-------|
|                     |      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 〈担当：保健介護課〉          | 21年度 | 13,835  | 5,352        |     |     | 8,483 |

新型インフルエンザワクチンの接種に係る個人負担の費用について、国の実施要綱に基づいて、低所得者等の費用負担の軽減を行いました。また、国の実施要綱に基づいて実施する低所得者への費用負担軽減に加えて、1歳から中学生に相当する年齢までの者、妊婦についても、市で独自に費用負担の軽減を行いました。

【事業の実施状況】

| 対象    | 低所得者 | 妊婦 | 1歳～中学生 | 合計    |
|-------|------|----|--------|-------|
| 人数(人) | 601  | 86 | 1,261  | 1,948 |

| ゆうあいの里空調設備改修事業 | 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |      |
|----------------|------|---------|--------------|-----|-----|------|
|                |      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 〈担当：保健介護課〉     | 21年度 | 48,514  | 48,513       |     |     | 1    |

老人福祉施設である養護老人ホーム「ゆうあいの里」の空調設備が老朽化していることに伴い、施設環境の改善を図るため、空調設備(エアコン)の改修をおこないました。

【事業の実施状況】  
施設全体の空調機(エアコン)の改修のための設計を行い、取替工事を平成22年1月から着工し、平成22年3月末に終了しました。なお、居室については、今後の維持管理・費用面で効率的であることからこれまでのビルトインタイプから壁掛けタイプに変更しました。

※ 再編交付金を48,513千円充当しました。

医療・介護予防一体推進事業

発病の予防や健康増進の取り組みと介護予防の取り組みを、様々なプログラムを通じて一体的に行うことにより、介護が必要な方の自立支援を強化するとともに、健康的な市民生活の維持・促進につなげます。

＜担当：保健介護課＞

【国民健康保険特別会計】

①ヘルスアップ事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |       |      |
|------|---------|--------------|-----|-------|------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他   | 一般財源 |
| 19年度 | 6,500   | 4,092        |     | 2,408 | 0    |
| 20年度 | 1,910   |              |     | 1,910 | 0    |
| 21年度 | 2,048   |              |     | 2,048 | 0    |

生活習慣病対策に重点を置いた健康づくり事業として大竹市ヘルスアップ事業を実施し、生活習慣病の一次予防を中心に位置付け、事業参加者個人の自主的な健康増進及び疾病予防を推進することにより、参加者の健康寿命の延伸と生活の質(QOL)の維持向上を図るとともに、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)に基づく特定保健指導を補完することを目的としています。

この目的達成のため、団体・地域における自主的な運動をサポートするための「運動指導者育成教室」と個人の生活習慣改善等のための「運動教室」を開催しました。

【事業の実施状況】

○ 運動指導者育成教室

| 対 象  | 自治会・老人クラブ・自主運動グループ等の団体からの代表者  |      |     |
|------|---|------|-----|
| 実施期間 | 平成21年7月～8月(全7回)   | 参加者数 | 32人 |
| 内 容  | ① 健康チェック：身体測定・体力測定等<br>② 指導者育成運動教室：集団で行なう運動を中心として、運動指導士が参加者を指導しました。運動は、教室修了後に各団体で指導できるよう、身近なもの(タオルやボール等)を利用した運動やみんなが知っている童謡等の歌を使った運動を中心に実施しました。 |      |     |

○ 運動教室

運動教室は、健康維持を目的とした軽い運動からダイエット効果(メタボリックシンドロームの改善)の期待できる強めの運動まで、参加者の年齢や健康状態に応じて楽しみながらできるような教室を実施しました。

| 実施期間 | 平成21年9月～12月(全15回)  | 参加者数 | 29人 |
|------|--|------|-----|
| 内 容  | ① 健康チェック：身体測定・体力測定等・姿勢チェック<br>② 運動教室：90分程度で、ストレッチング、筋力トレーニング、有酸素運動を運動指導士が指導のもと実施。朝の部の「すっきり健康教室」と夜の部の、「ゆったり元気教室」と時間帯別に開催しました。 |      |     |

【介護保険特別会計】

②地域支援事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |       |       |
|------|---------|--------------|-----|-------|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他   | 一般財源  |
| 19年度 | 7,080   | 2,669        |     | 3,540 | 871   |
| 20年度 | 12,794  | 4,798        |     | 6,397 | 1,599 |
| 21年度 | 10,917  | 4,093        |     | 5,458 | 1,366 |

介護予防に効果のある筋力トレーニング、栄養指導などに重点をおいた事業を展開し、高齢者ができる限り自立した生活が送れるよう支援します。

参加者の状態に応じて「特定高齢者(※)」向けの事業と、一般高齢者も参加できる事業に分けて実施しました。

※「特定高齢者」…質問25項目による基本チェックと健康診断の結果等により、一定の要件に該当する65歳以上の方

【事業の実施状況】

○ 特定高齢者向けの事業〈事業費〉 8,659千円

| 事業名       | 実施状況  | 参加者数(人) |
|-----------|---|---------|
| 通所型介護予防事業 | 特定高齢者に認定された方を対象に運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上に重点をおいたプランを参加者一人ひとりに立てて実施し、最後にそれを評価するという専門家によるサービスを8月から翌年1月までの6カ月間市内2か所(大竹20名・小方18名)で実施しました。 | 38      |

○ 一般高齢者向けの事業 〈事業費〉 2,258千円

| 事業名         | 実施状況   | 参加者数(人) |
|-------------|--|---------|
| 総合介護予防教室事業  | 3B体操、転倒予防教室、料理教室、健康づくり講座などの教室を開催し、さまざまな角度からの介護予防を目指しました。                     | 1,372   |
| 認知症予防普及啓発事業 | 「認知症を正しく理解し、予防するために」というメインテーマで、専門家を招き、様々な視点から講演をしてもらいました。6月から3月の間で10回開催しました。 | 295     |
| 生活管理型短期宿泊事業 | 体調を崩した高齢者が、一時的に宿泊しながら生活習慣等の指導を受け、体調調整を行いました。また、高齢者虐待に対する対応としての利用も行っています。     | 6(5)    |

※ 生活管理型短期宿泊事業の( )は高齢者虐待対応のために利用した人数です。

【介護保険特別会計】

③介護予防事業(地域サロン講師派遣事業)

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |       |       |
|------|---------|--------------|-----|-------|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他   | 一般財源  |
| 19年度 | 4,344   | 1,629        |     | 2,172 |       |
| 20年度 | 4,618   | 1,327        |     | 2,849 | 442   |
| 21年度 | 4,711   | 1,766        |     | 558   | 2,387 |

地域をあげて健康づくり・介護予防に取り組む体制づくりのため、介護予防などの取組みを行っている地域サロンに講師を派遣し、サロン参加者に介護予防などの専門的な知識を提供しました。

【事業の実施状況】

| 開催数(回) | 参加人数(人) |
|--------|---------|
| 272    | 3,210   |

地域で活動する団体(老人クラブなど)が行う介護予防を主目的とした体操などの自主的な活動に対し、講師(健康運動指導士など)を派遣することで、介護予防活動をより効果的に実施しています。身近な場所で定期的が集まることで、閉じこもり防止や介護予防に効果を発揮し、介護給付費の削減につながっていきます。

予防推進事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |       |        |
|------|---------|--------------|-----|-------|--------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他   | 一般財源   |
| 19年度 | 67,323  | 15,053       |     | 5,570 | 46,700 |
| 20年度 | 50,175  | 476          |     | 1,353 | 48,346 |
| 21年度 | 62,240  | 477          |     | 1,340 | 60,423 |

〈担当：保健介護課〉

発病や重症化を予防することは、市民の生命を守り、健康で自立した生活を維持するために大変重要であり、また医療費の抑制にもつながることから、様々な疾病などへの予防に対する取り組みを強化しました。

【事業の実施状況】

| 個別事業名                    | 事業費<br>(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |       |        | 事業内容   |
|--------------------------|-------------|--------------|-----|-------|--------|--|
|                          |             | 国県支出金        | 地方債 | その他   | 一般財源   |  |
| 健康診査（一般健診、がん検診、肝炎ウイルス検診） | 11,031      | 208          | 0   | 1,340 | 9,483  | 生活習慣病の予防やがんをはじめとする疾病などの早期発見・早期治療を行うとともに、市民の健康を促進するため、健康診査の充実を図りました。  |
| 予防接種事業                   | 41,379      | 0            | 0   | 0     | 41,379 | 麻疹、風しんや日本脳炎、ポリオ、インフルエンザなど、感染の恐れがある疾病の発生や蔓延を予防するために、予防接種を行いました。   |
| 妊婦・乳幼児健康診査               | 8,075       | 0            | 0   | 0     | 8,075  | 母性並びに乳児の健康の保持・増進を図るため、妊婦健康診査並びに乳児健康相談の受診券を配布し、異常の早期発見を促すとともに、適切な援助に努めました。平成21年度は、妊婦健康診査を5回から14回に拡充しました。          |
| エイズ予防対策事業                | 117         | 0            | 0   | 0     | 117    | エイズ及びHIVの予防を図るため、性的関心の強くなる世代に対して、正しい知識を持ってもらうための啓発を行いました。  |
| 健康相談事業                   | 91          | 60           | 0   | 0     | 31     | 健康診査の事後措置として、保健師や栄養士による個別相談を行い、病気の発生や重症化の予防を図りました。   |
| 訪問指導事業                   | 15          | 9            | 0   | 0     | 6      | 保健師などによる家庭への訪問指導を行い、健康に関する問題を総合的に把握し、生活改善などの必要な指導を行うことで、疾病の予防を図りました。   |
| 女性の健康づくり推進事業             | 17          | 0            | 0   | 0     | 17     | 健康で正しい食習慣を普及し、地域ぐるみで健康づくりに取り組むため、ボランティア（食生活改善推進委員）による地域活動を支援しました。  |
| 在宅寝たきり高齢者等訪問歯科診療促進事業     | 1,097       | 0            | 0   | 0     | 1,097  | 高齢者などで寝たきりの方にとっては、食事を上手に食べられる（噛める）ことが栄養面で身体機能の維持に大きく影響することから、歯科医師による訪問診療や、歯科衛生士による訪問指導を行い、全身状態の改善や生活自立の向上を図りました。 |
| 健康教育事業                   | 301         | 200          | 0   | 0     | 101    | 生活習慣病などの疾病を予防するため、講座や講演会、パンフレット配布などによる啓発を通じて、健康に関する正しい知識の普及を図りました。   |
| 結核予防事業                   | 117         | 0            | 0   | 0     | 117    | 65歳以上の方を対象としたレントゲン検査などを行い、結核の予防を図りました。   |

【介護保険特別会計】

見守りネットワーク（緊急通報体制整備）事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |       |       |
|------|---------|--------------|-----|-------|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他   | 一般財源  |
| 19年度 | 9,437   | 4,239        |     |       | 5,198 |
| 20年度 | 9,864   | 5,492        |     |       | 4,372 |
| 21年度 | 9,847   | 5,982        |     | 1,871 | 1,994 |

＜担当：保健介護課＞

高齢者のいる世帯における家庭内の事故や病気、災害などの緊急時における見守り体制を整備し、安心して暮らせる地域社会づくりを推進するための事業です。主に、緊急時に迅速かつ適切な対応ができるように、ひとり暮らし、または重度身体障害者などの住宅に緊急通報機器を設置することで、看護師などの待機するコールセンターとつないでサポートする体制を整備しました。この機器は、民生委員の協力を得て実施する「在宅高齢者実態調査」によって、設置の必要性が高いと判断されたひとり暮らし高齢者などの家庭に設置することになっており、緊急時の通報だけでなく、健康や日常生活の相談に24時間体制で対応するほか、月1回のコールセンターからの声かけを行いました。台風や地震などの災害時の安否確認にも活用されています。

【事業の実施状況】

|      | 利用者数(人) | 申請者数(人) | 通報件数  | 相談件数 | 救急車出動件数 |
|------|---------|---------|-------|------|---------|
| 19年度 | 259     | 42      | 1,688 | 485  | 15      |
| 20年度 | 258     | 37      | 1,866 | 492  | 15      |
| 21年度 | 265     | 36      | 1,507 | 367  | 16      |

- 21年度の利用者数（3月末現在）は前年度から4件増加しています。施設入所や家族との同居などの理由により、23名の方が撤去し、独居や健康不安などから新たに36名の方が設置されました。
- 平成21年度については、通報件数・相談件数ともに減少しています。
- 緊急ではない時でも日頃から利用している状況が伺えます。

【介護保険特別会計】

地域包括支援センター設置・運営事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |       |       |
|------|---------|--------------|-----|-------|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他   | 一般財源  |
| 19年度 | 18,066  | 10,975       |     | 3,432 | 3,659 |
| 20年度 | 23,898  | 14,518       |     | 4,541 | 4,839 |
| 21年度 | 24,185  | 14,692       |     | 4,595 | 4,898 |

《担当：保健介護課》

平成18年4月から、大竹市地域包括支援センターをサントピア大竹に設置しました。主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師などが連携し、次のような業務を行い、総合的に高齢者を支えています。

| 業務の種類           | 業務の内容   |
|-----------------|---|
| 介護予防ケアマネジメント    | ○要介護認定の申請<br>○要支援者のケアプラン作成                          |
| 総合相談            | ○地域の高齢者に関する相談                                       |
| 権利擁護            | ○高齢者の虐待相談<br>○成年後見制度の申請補助                           |
| 包括的・継続的ケアマネジメント | ○ケアマネジャーの支援やネットワークの構築<br>○さまざまな機関や職種と連携した支援困難事例への対応 |

【事業の実施状況】

社会福祉法人大竹市社会福祉協議会に委託し、7名体制で事業を実施しました。

○ 相談延件数（相談経路・相談内容別）

|                   | 本人・家族 | 相談経路             |        |        |
|-------------------|-------|------------------|--------|--------|
|                   |       | 民生・児童委員<br>地域住民等 | 介護事業所等 | 行政・その他 |
| 介護保険<br>(制度・サービス) | 238   | 44               | 52     | 28     |
| 介護保険外             | 111   | 34               | 32     | 24     |
| 成年後見制度            | 26    | 1                | 4      | 9      |
| 高齢者虐待             | 17    | 3                | 15     | 21     |
| 消費者相談<br>(悪徳商法)   | 10    | 0                | 2      | 0      |
| その他               | 351   | 73               | 66     | 153    |

【介護保険特別会計】

地域密着型サービス事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |        |        |
|------|---------|--------------|-----|--------|--------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他    | 一般財源   |
| 19年度 | 98,302  | 37,630       |     | 49,151 | 11,521 |
| 20年度 | 121,127 | 45,423       |     | 60,563 | 15,141 |
| 21年度 | 149,601 | 56,100       |     | 74,801 | 18,700 |

《担当：保健介護課》

介護が必要な方が住み慣れた地域で生活することを支援する、大竹市民のためのサービスです。現在大竹市には、認知症対応型通所介護1事業所、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）3事業所及び小規模多機能型居宅介護2事業所があります。事業費は、地域密着型サービスを利用した場合に支払われる保険給付費（原則サービス費用の9割）の額です。

【事業の実施状況】

○ 地域密着型サービスの種類と状況（「大竹市高齢者保健福祉計画・大竹市介護保険事業計画 平成21（2009）年度～平成23（2011）年度」において、整備を予定しているもの

| サービスの種類                   | サービスの内容                               | 設置数 (H22. 3) |
|---------------------------|---------------------------------------|--------------|
| 認知症対応型通所介護                | 認知症の人を対象に専門的なケアを提供する通所介護              | 12人          |
| 認知症対応型共同生活介護<br>(グループホーム) | 認知症高齢者がスタッフの介護を受けながら共同生活する住宅          | 45床          |
| 小規模多機能型居宅介護               | 通所を中心に、利用者の選択に応じて訪問や泊まりのサービスを組み合わせて提供 | 50人          |

○ 平成21年度実績

| サービスの種類                   | 給付費 (千円) | 件数  |
|---------------------------|----------|-----|
| 認知症対応型通所介護                | 31,067   | 277 |
| 認知症対応型共同生活介護<br>(グループホーム) | 88,972   | 379 |
| 小規模多機能型居宅介護               | 29,562   | 208 |
| 合計                        | 149,601  | 864 |

障害者等地域生活支援事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |        |
|------|---------|--------------|-----|-----|--------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 19年度 | 71,886  | 15,829       |     |     | 56,057 |
| 20年度 | 75,586  | 21,208       |     |     | 54,378 |
| 21年度 | 81,511  | 30,343       |     |     | 51,168 |

〈担当：福祉課〉

障害のある方がその能力や適正に応じて、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、市が主体となって地域の実情に応じた障害者等福祉サービス事業を実施しています。

【事業の実施状況】(※ その他、様々な事業を実施しています。)

- 相談支援事業・地域活動支援センター機能強化事業  
障害者、障害児の保護者等からの相談に応じ、情報の提供や権利擁護のために必要な補助を行っています。障害の種類に応じて市内3ヶ所の相談窓口を設置しました。  
(事業費) 27,693千円
- コミュニケーション支援事業  
聴覚・言語・視覚その他の障害のため、意思疎通を図ることに支障のある障害者等に、手話通訳者、要約筆記者の派遣等を行うことで意思疎通の円滑化を図りました。  
(手話通訳者の派遣) 利用件数27件 (要約筆記者の派遣) 利用件数3件  
(事業費) 99千円
- 日常生活用具給付事業  
重度身体障害者等に対し、日常生活用具を給付し、日常生活での自立を支援しました。  
(給付用具) ストマ用装具〔蓄便袋など〕、入浴補助用具など  
(事業費) 4,704千円
- 移動支援事業  
屋外での移動が困難な障害者等について、ヘルパーが付き添いを行うなどして外出を支援することで、地域での生活や社会参加を促しました。  
(実利用者数) 23人 (事業費) 4,292千円
- 社会参加促進事業  
市広報、市議会だより等の点訳・音訳や、点訳奉仕員・要約筆記奉仕員の養成講座などを行うことで、障害のある方の社会参加を促しました。  
(実施形態) 大竹市社会福祉協議会へ委託 (事業費) 1,085千円

**自立支援給付事業**

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |        |
|------|---------|--------------|-----|-----|--------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 19年度 | 179,237 | 150,234      |     |     | 29,003 |
| 20年度 | 228,514 | 167,017      |     |     | 61,497 |
| 21年度 | 219,945 | 166,272      |     |     | 53,673 |

〈担当：福祉課〉

障害のある方がその能力や適性に依じて、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、市が主体となって障害者等福祉サービス事業を実施しています。

【事業の実施状況】（※ その他、特別対策事業として様々な事業を実施しています。）

- 自立支援医療
  - ・精神通院医療 受付・交付事務
  - ・更生医療 身体障害者(18歳以上)の障害の除去、または軽減により日常生活を容易にするための医療費の給付を行います。  
〔利用者数〕25人 〔事業費〕13,145千円
- 補装具
  - 身体上の障害を補うための用具を購入・修理する際に補装具費の支給を行います。  
〔利用者数〕54人 〔事業費〕4,350千円
- 障害程度区分認定等事務
  - サービスの利用にあたって必要な障害程度区分を決めるために、調査や医師の意見をもとに審査会での審査・判定を行います。  
〔審査件数〕60件 〔事業費〕1,083千円
- 障害福祉サービス
  - ・介護給付 障害程度が一定以上の人に生活上または療養上の必要な介護を行います。  
(居宅介護・療養介護・生活介護・児童デイサービス・短期入所・施設入所支援等)
  - ・訓練等給付 身体的または社会的なリハビリテーションや、就労につながる支援を行います。(自立訓練・就労移行支援・就労継続支援等)  
〔延利用人員〕1,884人 〔事業費〕196,993千円

**総合福祉センター運営事業**

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |        |
|------|---------|--------------|-----|-----|--------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 19年度 | 26,865  |              |     |     | 26,865 |
| 20年度 | 28,222  |              |     |     | 28,222 |
| 21年度 | 27,809  |              |     |     | 27,809 |

〈担当：福祉課〉

総合福祉センターの施設及び設備の維持管理、利用の許可、取消、制限等に関する業務、利用料の徴収、減免、還付等に関する業務など総合福祉センターの運営にかかる業務を委託しています。

【事業の実施状況】

○ 管理運営業務委託料

平成18年4月1日から大竹市総合福祉センターの運営及び維持管理に関する指定管理者である大竹市社会福祉協議会に管理運営業務委託料を支払い、施設内外の設備に関する維持管理の委託を行っています。(例)リハビリ温水プールの管理運営業務や空調設備の保守点検業務など

※ 平成19年4月1日から日曜日についても開館をし、大竹市総合福祉センターが地域福祉の拠点となり、更なる利用の促進を図るよう努めています。

精神保健福祉事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |      |
|------|---------|--------------|-----|-----|------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 19年度 | 86      |              |     |     | 86   |
| 20年度 | 48      |              |     |     | 48   |
| 21年度 | 375     |              |     |     | 375  |

《担当：保健介護課》

精神障害者の社会復帰を支援するため、ソーシャルクラブ「青空」を実施しました。また、家族の問題解決能力を高めるため、統合失調症の方の家族を対象とした家族教室を開催し、自殺対策としては、保健所と共催で、相談に携わる方を対象に研修会を実施しました。社会適応訓練委託事業が県から市に移譲され、継続して実施しました。

【事業の実施状況】

ソーシャルクラブ「青空」では、メンバーに新規の方を迎え、全体的にも参加率は良好でした。家族の方が参加される機会を設け、家族との関わりなどを知ること、メンバーの個別性にあった関わりに繋げることができたと考えます。

家族教室は、全6回延べ34人の参加があり、継続を希望する声もありました。

自殺対策研修会では「あなたが身近な人から相談されたらどうしますか」というテーマで、42名の参加がありました。

社会適応訓練委託事業：利用者1名

安心・安全のための取り組み

新

外灯整備事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |       |
|------|---------|--------------|-----|-----|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 21年度 | 9,972   | 8,761        |     |     | 1,211 |

《担当：土木課》

※ 上記事業費には事務費を含みます。

再編関連特別事業として、各自治会に防犯灯設置等に関する要望調査を行い、自治会等維持管理の防犯灯として69灯、新たに市営外灯として15灯を設置しました。灯具選定は、長寿命で維持費及び環境負荷が少ないLED防犯灯としています。同時に、既存市営外灯のうち蛍光灯で老朽化が著しい111灯も防犯灯整備事業によりLED化しています。

また、老朽化した市営外灯のうち水銀灯についても、外灯整備事業として取替工事を行いました。

【事業の実施状況】

| 事業名                   | 施工箇所 | 事業概要   | 工事費等(千円) | 事務費(千円) | 事業費計(千円) |
|-----------------------|------|--|----------|---------|----------|
| 防犯灯整備事業<br>(再編関連特別事業) | 195  | LED防犯灯設置<br>(自治会等管理69灯、市営外灯111灯更新、市営外灯15灯新規設置)           | 8,747    | 14      | 8,761    |
| 市営外灯取替事業              | 18   | 老朽化市営外灯取替<br>(LED灯8灯設置、水銀灯7灯設置、水銀灯3灯撤去(灯具照度及び配置見直しによる減)) | 1,211    |         | 1,211    |

※ 再編交付金を8,761千円充当しました。



防災行政無線整備事業（継続費20～21年度）

〈担当：総務課〉

| 事業年度   | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |        |         |        |
|--------|---------|--------------|--------|---------|--------|
|        |         | 国県支出金        | 地方債    | その他     | 一般財源   |
| 全体計画   | 422,214 | 316,660      | 79,000 |         | 26,554 |
| 20年度   | 3,255   | 2,441        | 800    |         | 14     |
| 21年度   | 212,886 | 159,664      | 38,800 | 5,105   | 9,317  |
| 実績     | 216,141 | 162,105      | 39,600 | 5,105   | 9,331  |
| 計画との比較 | 206,073 | 154,555      | 39,400 | △ 5,105 | 17,223 |

※ 21年度の事業費等には、20年度からの繰越分を含めて記載しています。

平成23年5月をもって、電波関係法令の改正により使用できなくなる既設の800MHz帯地域防災無線にかわり、放送機能が充実し、市民への迅速な緊急情報の提供が行える60MHz帯デジタル同報系防災行政無線を整備しました。

【事業の実施状況】

○ 60MHz帯同報系防災行政無線設備について

市役所庁舎内に設置する親局設備から、傘山・立戸山等の中継設備を経由して、市内各所に設置する拡声装置へ電波を送信し、市民への放送を行います。拡声放送の届かない地域や、耳の不自由な方への情報伝達は、戸別の受信装置により補完します。

また、災害時に孤立するおそれのある山間部や島しょ部では、親局と双方向の通話を行なえる設備を設置します。本設備は、平成22年4月1日から稼働を開始しています。

新

中浜ポンプ場ポンプ取替事業

〈担当：土木課〉

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |       |
|------|---------|--------------|-----|-----|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 21年度 | 97,589  | 94,000       |     |     | 3,589 |

※ 上記事業費には事務費を含みます。

大雨時による浸水対策のため、手動駆けのディーゼルエンジンポンプを電動自動によるポンプ(φ500)に更新し、近年多発するゲリラ豪雨にもいち早く対応できる様整備しました。

【事業の実施状況】（再編関連特別事業分）

| 事業年度 | 施工箇所  | 事業内容                                | 工事費等(千円) | 事務費(千円) | 事業費計(千円) |
|------|-------|-------------------------------------|----------|---------|----------|
| 21年度 | 玖波1丁目 | 水中ポンプφ500<br>高圧受変電盤 1式<br>非常用発電機 1式 | 92,514   | 1,486   | 94,000   |

※ 再編交付金を94,000千円充当しました。

新

都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業

〈担当：都市計画課〉

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |       |
|------|---------|--------------|-----|-----|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 21年度 | 2,188   |              |     |     | 2,188 |

※ 上記事業費には事務費を含みます。

【事業内容】

昭和40年代に整備した市内の都市公園を主な対象とし、市民の方々に安心・安全に利用して頂くため、老朽化した遊具の改築とトイレのバリアフリー化（多目的トイレの改築）を行なっていきます。事業計画期間は平成21年度～平成23年度とし、規模の大きな公園や施設点検結果を考慮し順次改築していきます。

【事業の実施状況】

平成21年度の取り組み

- ・ さかえ公園、本町児童公園、油見公園の多目的トイレ実施設計業務 1,386千円
- ・ さかえ公園多目的トイレ整備工事に伴う給排水施設改良工事 688千円
- ・ 建築確認申請等手数料 15千円

※上記の多目的トイレ改築工事および本町児童公園の複合遊具改築工事は、平成22年度に繰越し実施していきます。

新

耐震改修促進事業

〈担当：都市計画課〉

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |      |
|------|---------|--------------|-----|-----|------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 21年度 | 4,095   | 4,095        |     |     | 0    |

国の「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本方針」に基づき、市耐震改修促進計画を策定しました。

【事業の実施状況】

- ・耐震改修促進計画作成業務 4,095千円

新

阿多田地区救急搬送事業

〈担当：消防本部〉

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |      |
|------|---------|--------------|-----|-----|------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 21年度 | 300     |              |     |     | 300  |

傷病等により、救急患者を阿多田地区から本土の医療機関に移送する場合、その移送に対する協力者へ謝礼金を支給し、離島住民の救急医療の確保と経済的負担を軽減します。

【事業の実施状況】

- 支給件数 15件
  - 内訳 一般負傷 1件 労働災害 1件
  - その他 14件(阿多田島診療所からの要請など)

消防用資機材整備事業

〈担当：消防本部〉

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |       |
|------|---------|--------------|-----|-----|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 19年度 | 7,896   | 7,896        |     |     | 0     |
| 20年度 | 65,356  | 60,930       |     |     | 4,426 |
| 21年度 | 7,601   | 7,601        |     |     | 0     |

消防力の維持・向上を図ることで、あらゆる災害に応じて市民が安心して安全な生活ができるように、消防防災活動において必要な資機材を整備します。

今後も、特殊災害や石油コンビナート災害に対応できる資機材の整備に努めます。

【事業の実施状況】

主な整備状況は次のとおりです。

- 18年度 空気ポンベ3本、ガス検知器1機
- 19年度 消防団用携帯無線機32機、小型動力ポンプ1台、空気呼吸器10式
- 20年度 (石油備蓄交付金)
  - 空気呼吸器3式、酸素呼吸器1式、小型動力ポンプ1台、ガス検知器1式、化学防護服1式、空気ポンベ2本、防火衣一式5着、小型動力ポンプ積載車1台、(再編交付金)
  - 高規格救急車1台、指揮車1台、広報車1台、小型動力ポンプ付軽四駆動消防車2台、小型動力ポンプ付積載車1台、熱画像装置1式、小型携帯無線機7機
- 21年度 (石油備蓄交付金)
  - 空気呼吸器3式、酸素呼吸器2式、空気ポンベ31本

**救急救命士養成事業**

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |       |
|------|---------|--------------|-----|-----|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 19年度 | 2,639   |              |     |     | 2,639 |
| 20年度 | 1,850   |              |     |     | 1,850 |
| 21年度 | 998     |              |     |     | 998   |

《担当：消防本部》

**〔救急救命士の養成〕**

救急車の出動件数は年々増加の傾向にあり、救命率向上のため各小隊に救急救命士を配置すること(常時救急車には救急救命士が同乗する)を目標に、救急救命士養成計画を進めてまいりました。

平成19年度において当初の目標数である有資格者10名を達成し常時救急救命士の同乗が可能となりました。今後も更なる救命率の向上(119番受信時の口頭指導を含む。)及び、職員の資質の向上を目指し、市民の安全・安心を確保するためにも、救急救命士の養成を継続していきます。

**〔救急救命士の新たな資格取得に向けて〕**

救急救命行為として、平成16年7月に「気管挿管」、平成18年4月に「薬剤投与」が可能となり毎年計画的に資格を取得しています。

**【事業の実施状況】**

○ 気管挿管

〔研修受講者〕救急救命士2名(毎年度1～2名計画的に受講)

〔病院実習〕2ヶ月間 〔場所〕広島総合病院

○ 薬剤投与

〔研修受講者〕救急救命士4名(救急救命士全10名資格取得)

〔追加講習〕約1ヶ月間 〔場所〕救急救命士養成所

〔病院実習〕約10日間 〔場所〕広島総合病院

※ 救急救命士の養成

これまでの救急救命士に与えられていなかった「気管内チューブによる気道確保」の実施が国からの告示に基づき、平成16年7月1日より可能となりました。さらなる救命率の向上を図るため、救急救命士の気管挿管について病院研修を実施しています。(現在の有資格者7名)

また、平成18年4月1日より「薬剤投与(アドレナリン)」も可能となり、救命率向上を図るため、薬剤投与資格取得に向けた追加講習及び病院研修を計画的に実施し、平成20年度で救急救命士資格者の全10名が薬剤投与の資格を取得できました。

**急傾斜地崩れ対策事業**

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |        |     |       |
|------|---------|--------------|--------|-----|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債    | その他 | 一般財源  |
| 19年度 | 21,000  | 10,000       | 10,000 |     | 1,000 |
| 20年度 | 31,156  | 10,059       | 20,000 |     | 1,097 |
| 21年度 | 21,949  | 9,200        | 12,700 |     | 49    |

《担当：土木課》

※ 上記事業費には事務費を含みます。

市内の危険箇所指定区域について、宅地背面・山腹法面の保護を行うために、待受け擁壁や落石防護柵などを整備します。

平成21年度は、平成20年度に引き続き阿多田地区の対策工事を行いました。

**【事業の実施状況】**

| 事業年度 | 施工箇所       | 工事延長(m) | 工事費等(千円) | 事務費(千円) | 事業費計(千円) |
|------|------------|---------|----------|---------|----------|
| 19年度 | 大葉林地区、後原地区 | 26.4    | 20,000   | 1,157   | 21,157   |
| 20年度 | 後原地区       | 40.5    | 29,532   | 1,624   | 31,156   |
| 21年度 | 後原地区、阿多田地区 | 41.0    | 18,737   | 3,212   | 21,949   |

休日診療所運営事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |        |       |
|------|---------|--------------|-----|--------|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他    | 一般財源  |
| 19年度 | 21,159  |              |     | 12,568 | 8,591 |
| 20年度 | 20,541  |              |     | 11,226 | 9,315 |
| 21年度 | 23,006  |              |     | 16,272 | 6,734 |

《担当：保健介護課》

市民が安心して暮らすための医療体制の整備の一環として、休日における急病者に対する診療及び応急処置（初期救急医療）を行う休日診療所を運営しています。

【事業の実施状況】

○ 科別受診者数の推移

|    | 19年度  | 20年度  | 21年度  |
|----|-------|-------|-------|
| 内科 | 1,287 | 1,110 | 1,289 |
| 外科 | 354   | 313   | 300   |
| 合計 | 1,641 | 1,423 | 1,589 |

生活環境向上の  
取り組み

新

地域情報通信基盤整備事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |       |     |      |
|------|---------|--------------|-------|-----|------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債   | その他 | 一般財源 |
| 21年度 | 4,988   |              | 4,900 |     | 88   |

《担当：企画財政課》

地域情報化格差解消を目指して国のICT交付金により実施するケーブルテレビ施設の整備について、申請資料作成の上で専門的知識やノウハウ、支援方法など専門事業者のサポートが必要なことから、プロポーザル方式による選定事業者に事前調査業務を委託しました。

【事業の実施状況】

整備エリアの現地調査、申請書類作成支援、コンサルティング業務など

晴海臨海公園整備事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |        |
|------|---------|--------------|-----|-----|--------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 19年度 | 10,746  |              |     |     | 10,746 |
| 20年度 | 1,273   |              |     |     | 1,273  |
| 21年度 | 2,870   | 1,890        |     |     | 980    |

《担当：都市計画課》

※ 上記事業費には事務費を含みます。

晴海二丁目埋立地をスポーツの場、レクリエーションの場、海辺の憩いの場として、魅力ある交流拠点を生み出す公園整備をするものです。

【事業の実施状況】

平成21年度の取り組み

- ・ 散水栓整備（給水管φ40 L=650m, 散水栓 7基） 2,721千円
- ・ 晴海臨海公園 127,557.52m<sup>2</sup>の県用地を市に財産譲与（無償譲渡）を受けました。

大竹駅東口広場整備事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |         |        |      |
|------|---------|--------------|---------|--------|------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債     | その他    | 一般財源 |
| 19年度 | 0       |              |         |        | 0    |
| 20年度 | 3,962   |              |         |        | 0    |
| 21年度 | 242,601 | 90,250       | 107,500 | 44,851 | 0    |

《担当：都市計画課》

※ 上記事業費には事務費を含みます。

JR山陽本線で分断されている大竹駅周辺の交通ネットワークの形成と活性化を目的とし、東西間を跨線橋の自由通路で結び、駅東側に交通広場を整備するものです。

【事業の実施状況】

平成21年度は、事業に必要な用地買収（物件補償含む）を行うとともに、平成20年度に行われた事業評価監視委員会の付帯意見を尊重し、利便性の向上のための橋上駅化为踏まえた自由通路の見直し検討、および貨物トレーラーの代替ルート検討を行い、JR西日本およびJR貨物と協議を行いました。平成22年度に継続協議となりました。

- ・ 用地買収（物件補償含む） 228,444千円  
     対象物件：日本通運㈱（買収面積 1,254.81m<sup>2</sup>、補償 1件）
- ・ 建物調査再算定業務 840千円
- ・ 自由通路見直し予備設計業務（部分払） 2,289千円

松ヶ原集会所建設事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |       |        |       |
|------|---------|--------------|-------|--------|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債   | その他    | 一般財源  |
| 20年度 | 42      |              |       |        | 42    |
| 21年度 | 131,203 | 79,327       | 2,700 | 43,835 | 5,341 |

《担当：市民課》

※ 21年度の事業費等には、20年度からの繰越分を含めて記載しています。

平成20年3月末をもって松ヶ原小学校が閉校したことに伴い、新たな地域住民の集いの場として集会所を建設しました。

管理については平成22年度より松ヶ原町自治会が指定管理者として維持管理をしています。

【事業の実施状況】

○延べ床面積：447.25m<sup>2</sup>    ○構造：鉄骨造    ○階数：1階

(単位:千円)

|        |                    |        |
|--------|--------------------|--------|
| 平成20年度 | 不動産鑑定              | 42     |
| 平成21年度 | 用地購入               | 8,432  |
|        | 事業認定等手続き           | 234    |
|        | 建築設計               | 2,048  |
|        | 地質調査費              | 200    |
|        | 土地造成設計測量費          | 2,373  |
|        | 造成工事（プール解体、付帯工事含む） | 19,989 |
|        | 建築請負工事             | 92,396 |
|        | 完了検査等手続き等          | 137    |
|        | 建設工事管理業務委託         | 1,785  |
|        | 備品購入費              | 1,214  |
|        | 事務費                | 2,395  |

※当該事業は、各種経済対策交付金を充当して実施しているため、後頁でも再掲しています。

市道改良事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |        |     |       |
|------|---------|--------------|--------|-----|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債    | その他 | 一般財源  |
| 19年度 | 27,968  |              | 27,000 |     | 968   |
| 20年度 | 298,304 | 193,376      | 96,100 |     | 8,828 |
| 21年度 | 40,060  | 19,000       | 17,200 | 702 | 3,158 |

《担当：土木課》

※ 上記事業費には事務費を含みます。

交通安全と道路環境の向上を図るため、市道の改良を行います。工事施工は側溝改良や舗装補修が主体となっており、平成21年度は以下の路線について整備しました。

【事業の実施状況】

| 路線名              | 工事延長 (m) | 事業概要                       | 工事費等 (千円) | 事務費 (千円) | 事業費計 (千円) |
|------------------|----------|----------------------------|-----------|----------|-----------|
| 北栄南栄1号線          | 815.3    | 舗装工A=5,190㎡                | 17,680    | 149      | 17,829    |
| 飛石4号線            | 87.4     | 舗装工A=856㎡                  | 8,309     | 146      | 8,455     |
| 本町元町1号線          | 327.5    | 舗装工A=1,130㎡                | 3,571     | 145      | 3,716     |
| 東栄2号線<br>(H20線越) | 90.0     | 舗装工A=180㎡<br>側溝工L=81m      | 2,902     | 79       | 2,981     |
| 新町17号線           | -        | 用地買収A=36.02㎡               | 3,079     | 0        | 3,079     |
| 晴海15号線設計測量       | 650.0    | 測量設計業務0.026km <sup>2</sup> | 3,821     | 179      | 4,000     |

※ 晴海15号線設計測量には、再編交付金を4,000千円充当しました。

※ 経済危機対策の各種交付金を財源として実施した事業については後頁に掲載しています。

青木線道路改良事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |       |     |       |
|------|---------|--------------|-------|-----|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債   | その他 | 一般財源  |
| 19年度 | 4,892   |              | 4,800 |     | 92    |
| 20年度 | 5,688   |              | 5,200 |     | 488   |
| 21年度 | 41,971  | 35,000       |       |     | 6,971 |

《担当：土木課》

※ 上記事業費には事務費を含みます。

平成20年度までに概略設計及び一部用地買収、用地補償にかかる測量及び調査を行っており、平成21年度は引き続き用地買収、物件補償並びに測量詳細設計及び用地再算定、鑑定を行いました。

【事業の実施状況】

| 路線名 | 工事延長 (m) | 事業概要   | 業務費等 (千円) | 事務費 (千円) | 事業費計 (千円) |
|-----|----------|--|-----------|----------|-----------|
| 青木線 | -        | 用地買収260.29㎡<br>物件補償 1式<br>測量詳細設計業務 1式<br>用地調査業務 1式 | 40,607    | 1,364    | 41,971    |

※ 再編交付金を35,000千円充当しました。

橋梁長寿命化修繕計画策定事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |       |
|------|---------|--------------|-----|-----|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 20年度 | 4,473   |              |     |     | 4,473 |
| 21年度 | 4,023   | 2,000        |     |     | 2,023 |

《担当：土木課》

自治体が管理する橋又は重要なネットワーク上にある橋について、効率的・効果的に管理するため、長寿命化修繕計画を策定します。

【事業の実施状況】

平成21年度は、10m未満橋64橋、10m以上40m未満橋7橋の計71橋について点検し、点検結果をとりまとめました。

小型合併処理浄化槽設置補助事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |        |
|------|---------|--------------|-----|-----|--------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 19年度 | 17,216  | 4,225        |     |     | 12,991 |
| 20年度 | 7,933   | 2,088        |     |     | 5,845  |
| 21年度 | 6,245   | 1,349        |     |     | 4,896  |

《担当：環境整備課》

公共用水域における水質保全をより一層推進するため、公共下水道及び農業・漁業集落排水区域以外の地域（栗谷町の一部、松ヶ原、大人原及び川手地区）を対象に、「大竹市小型合併処理浄化槽設置事業補助金交付要綱」に基づき、平成4年度から合併処理浄化槽を設置するための補助金を交付しています。平成21年度は、松ヶ原地区に8基の補助を実施しました。

【事業の実施状況】

○ 設置件数の推移

|        | 19年度 | 20年度 | 21年度 |
|--------|------|------|------|
| 5人槽    | 8    | 3    | 3    |
| 6～7人槽  | 14   | 7    | 5    |
| 8～10人槽 | 0    | 0    | 0    |

※ 住宅の延べ面積が130㎡以下の場合には5人槽とし、130㎡を超える場合は7人槽となります。浴室及び台所が2箇所ある住宅（2世帯又は大家族住宅用）については、10人槽相当とします。

ストックヤード整備事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |       |     |       |
|------|---------|--------------|-------|-----|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債   | その他 | 一般財源  |
| 20年度 | 6,069   | 2,023        | 3,000 |     | 1,046 |
| 21年度 | 4,200   | 1,400        | 2,500 |     | 300   |

《担当：環境整備課》

平成19年度に策定した「一般廃棄物処理計画・循環型社会形成推進計画」に位置づけられた事業の内、旧焼却施設を解体するために必要な業務を実施しました。今後、ごみ焼却施設解体及びストックヤードの建設工事を実施の予定です。

【事業の実施状況】

・ストックヤード建設工事仕様書作成業務 4,200千円

資源回収実施団体助成事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |        |
|------|---------|--------------|-----|-----|--------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 19年度 | 11,059  |              |     |     | 11,059 |
| 20年度 | 9,853   |              |     |     | 9,853  |
| 21年度 | 10,647  |              |     |     | 10,647 |

《担当：環境整備課》

家庭から排出されるごみの減量化と再資源化を促進し、生活環境の保全や循環型社会の構築を行うため、住民による資源の回収に対し、「大竹市資源回収実施団体報奨金交付要綱」に基づき報奨金を交付しました。この報奨金制度は、昭和63年度から開始され、ごみ収集カレンダーの「新聞・雑誌の日」を利用したシステム回収を実施することにより、地域住民のごみ行政に対する意識が向上するとともに、自らの活動により自治会活動費を確保するという「協働のまちづくり」の浸透にも役立っています。

【事業の実施状況】

○ 事業の実施状況

|         | 19年度      | 20年度      | 21年度      |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 登録団体数   | 83        | 80        | 73        |
| 実施回数    | 712       | 612       | 649       |
| 回収量(kg) | 1,590,745 | 1,418,159 | 1,531,019 |

新

環境基本計画策定事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |       |
|------|---------|--------------|-----|-----|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 21年度 | 2,993   |              |     |     | 2,993 |

《担当：環境整備課》

本市の環境施策を総合的かつ計画的に推進するため環境基本計画を策定しています。本市の環境は、昭和40年代の深刻な大気汚染や水質汚濁等の公害から改善されていますが、市民等の環境に対する満足度は低い状況であり、また、本市に定住しない理由として、悪臭等の生活環境の改善が課題となっています。これらの解決のために計画を策定し、効果的な施策の展開を図ります。

【事業の実施状況】

- 平成21年10月 アンケート調査実施  
対象者：市民（1,000人）・事業所（400事業所）・大手事業所従業員（1,000人）  
回収率：市民（34.6%）・事業所（46.8%）・従業員（91.0%）
- 大竹市環境審議会 2回開催（12月・2月）
- 大竹市環境基本条例を制定（平成22年4月1日施行）

新

環境学習事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |      |
|------|---------|--------------|-----|-----|------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 21年度 | 5,206   | 5,206        |     |     | 0    |

《担当：環境整備課》

環境学習の普及啓発を図るため、県から環境学習モデルタウン事業の指定を受け、様々な主体と連携・協働し、環境学習事業を積極的に展開しました。

【事業の実施状況】

- 環境教育学習会（1回）・環境学習指導者研修会（4回）
- 環境学習モデル校（玖波・木野・阿多田小学校） 各学校での特色ある環境教育事業
- 子ども環境会議
- 環境学習会（小瀬川河口干潟観察会・ごみ処理場見学会・工場見学会）
- 子育て環境学習事業（親子自然体験学習会）
- 環境活動連携支援事業（市民団体と学校が連携したゴミ減量事業）
- 環境イベント（環境映画上映会・エコパネル展・マイエコバッグづくり・ふるしき包み講習会等）

ひろしまの森づくり事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |      |
|------|---------|--------------|-----|-----|------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 19年度 | 5,150   | 5,118        |     |     | 32   |
| 20年度 | 7,940   | 7,940        |     |     | 0    |
| 21年度 | 6,950   | 6,950        |     |     | 0    |

《担当：地域振興課》

県土の保全や水源かん養などの森林の有する公益的な機能を持続的に発揮させるため、平成19年4月から広島県が導入した「ひろしまの森づくり県民税」を財源として、県民共有の財産である森林を守り育てる事業を推進しました。また、事業を推進するにあたり「ひろしまの森づくり大竹市推進協議会」を設置し、事業内容の検討を行い、実施しました。

【事業の実施状況】

- 環境貢献林整備事業  
過去15年以上手入れがなされなかったスギ、ヒノキの人工林を整備  
※ 所有者負担1ha当たり1万円



○ 里山林整備事業

手入れが不十分なマツや広葉樹などの里山林を整備（面積：ha）

| 事業年度 | 環境貢献林整備事業 |     |      | 里山林整備事業 |     |       | 合計   |     |       |
|------|-----------|-----|------|---------|-----|-------|------|-----|-------|
|      | 事業箇所      | 所有者 | 整備面  | 事業箇所    | 所有者 | 整備面   | 事業箇所 | 所有者 | 整備面   |
| 19年度 | 1         | 1   | 3.25 | 2       | 69  | 10.50 | 3    | 70  | 13.75 |
| 20年度 | 3         | 3   | 4.67 | 4       | 11  | 4.72  | 7    | 14  | 9.39  |
| 21年度 | 8         | 7   | 5.23 | 4       | 10  | 3.13  | 12   | 17  | 8.36  |

○ 森林・林業体験活動支援事業

森林の機能や林業について学ぶ森林・林業体験活動への支援

〔実施内容〕 主体：栗谷中学校，栗谷小学校，栗谷地域住民

内容：地域の森の手入れ，炭焼き体験，間伐材を利用したペレットストーブ設置と木質バイオマスの利用体験，和紙製造体験

○ 県産間伐材木製品普及促進事業

公共施設や学校施設への県産間伐材の利用

〔実施内容〕 市内小学校3年生の机の天板の取替えを実施（227枚）

消費生活相談業務

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |       |
|------|---------|--------------|-----|-----|-------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 19年度 | 887     |              |     |     | 887   |
| 20年度 | 856     |              |     |     | 856   |
| 21年度 | 2,942   | 1,936        |     |     | 1,006 |

〈担当：地域振興課〉

市民の消費生活の安定と向上のため「大竹市消費生活センター」にて，消費生活相談員による相談業務（週2日）や，消費生活に関する啓発活動を行いました。

○ 相談業務

場所 大竹市小方1丁目11番1号（大竹市役所地域振興課内）

受付時間 毎週火・金曜日（祝日・年末年始を除く）9時～16時

○ 啓発活動

市内の高齢者の集会やコイ・こいフェスティバルにおいて消費生活被害を未然に防ぐための講演，講座などを行いました。また，市広報にて毎月消費生活に関する記事を掲載しました。

○ 広島県消費者行政活性化事業補助金により「大竹市司法書士相談会」を11月から開催し，多重債務などの相談を受けました。

【事業の実施状況】

○ 年度別相談件数

| 年度   | 件数  | 種別    | 年度   | 件数  | 種別    |
|------|-----|-------|------|-----|-------|
| 19年度 | 112 | 架空請求  | 21年度 | 114 | 架空請求  |
|      |     | 多重債務  |      |     | 多重債務  |
|      |     | 訪問販売  |      |     | 訪問販売  |
|      |     | SF商法  |      |     | SF商法  |
|      |     | 電話販売  |      |     | 電話販売  |
|      |     | マルチ商法 |      |     | マルチ商法 |
|      |     | その他   |      |     | その他   |
| 20年度 | 98  | 架空請求  | 21年度 | 114 | 通信販売  |
|      |     | 多重債務  |      |     | 多重債務  |
|      |     | 訪問販売  |      |     | 訪問販売  |
|      |     | SF商法  |      |     | SF商法  |
|      |     | 電話販売  |      |     | 電話販売  |
|      |     | マルチ商法 |      |     | マルチ商法 |
|      |     | その他   |      |     | その他   |

# 財政健全化の 取り組み

## 地方債繰上償還

〈担当：企画財政課〉

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |        |
|------|---------|--------------|-----|-----|--------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 21年度 | 33,000  |              |     |     | 33,000 |

将来の負担を軽減するために、過去に借入を行った地方債の一部を繰上償還しました。繰上償還にあたっては、補償金等が生じないもののうち、最も利率の高いものを選定して行いました。

### 【事業の実施状況】

- 繰上償還額：33,000,000円（平成17年度借入分 53,100,000円の一部）
- 繰上償還の実施による効果額（今後の支払利息の軽減額）：4,083,028円  
（繰上償還前支払利息額 6,022,454円 - 繰上償還後支払利息額 1,939,426円）

## 土地造成支援事業

〈担当：企画財政課〉

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |        |     |         |
|------|---------|--------------|--------|-----|---------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債    | その他 | 一般財源    |
| 19年度 | 95,800  |              | 95,800 |     | 0       |
| 20年度 | 210,100 |              | 95,800 |     | 114,300 |
| 21年度 | 333,969 |              | 95,800 |     | 238,169 |

大願寺地区土地造成事業の円滑な推進のため、大竹工業団地に立地した工場に賦課される固定資産税額に相当する額の26.5%と従来支援分（95,800千円）を土地造成特別会計に繰り出しました。

### 【事業の実施状況】

（単位：千円）

|      | 土地造成特別会計繰出金決算額 |         |         |
|------|----------------|---------|---------|
|      | 従来分            | 大竹工業団地分 | 合計      |
| 19年度 | 95,800         |         | 95,800  |
| 20年度 | 95,800         | 114,300 | 210,100 |
| 21年度 | 95,800         | 238,169 | 333,969 |

## 土地開発公社経営健全化対策

〈担当：監理課〉

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |     |     |        |
|------|---------|--------------|-----|-----|--------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債 | その他 | 一般財源   |
| 19年度 | 63,792  |              |     |     | 63,792 |
| 20年度 | 31,235  |              |     |     | 31,235 |
| 21年度 | 71,668  |              |     |     | 71,668 |

土地開発公社では、事業用地や代替地の先行取得を行ってきましたが、経済情勢の悪化もあり保有地の事業化等が進んでいない状況です。経営健全化計画に基づき、借入金による負担の軽減を図るための利子補給や、地価下落による帳簿価格と売却価格の差額について補てんしています。

### 【事業の実施状況】

- 平成21年度：玖波駅前開発事業用地のうち50,000千円分について、市が土地開発公社から買戻しを行いました。

# 緊急経済対策の 取り組み

## 地域活性化・経済対策事業

| 事業年度 | 事業費(千円) | 財 源 内 訳 (千円) |       |        |        |
|------|---------|--------------|-------|--------|--------|
|      |         | 国県支出金        | 地方債   | その他    | 一般財源   |
| 20年度 | 8,217   | 3,000        |       |        | 5,217  |
| 21年度 | 929,138 | 847,726      | 2,700 | 54,588 | 24,124 |

〈担当：企画財政課〉

国の平成21年度第1次補正や平成20年度第2次補正などにおいて、国民の「安心と活力」を実現するために、地方の景気対策や生活者の安心実現を目的として、各種の臨時の交付金制度が創設されました。大竹市においても、この臨時交付金を活用して、地域の活性化のための事業や市民の安心・安全のための事業など、平成20年度に引き続き、以下の事業を実施しました。

平成21年度中に完了しなかった事業については、平成22年度に予算と交付金を繰り越して、事業を実施します。

### 【事業の実施状況】

#### ①地域活性化・生活対策臨時交付金 【平成21年度交付額：51,116千円】

| 事業名                   | 事業費(千円) | 実施内容                                       |
|-----------------------|---------|--|
| 庁内LAN用パソコン整備事業        | 24,353  | 旧式化していたノート・デスクトップパソコン173台を、業務向上のため更新しました。  |
| 公共施設地上デジタル放送対応テレビ整備事業 | 4,044   | 地上デジタル対応のため、公共施設設置のTV(36台)を更新しました。         |
| 松ヶ原集会所建設事業(20年度繰越分)   | 13,286  | 松ヶ原小学校閉校に伴い、新たに地区住民が集える場所として集会所を建設しました。    |
| 立戸小島新開1号線交通安全施設設置事業   | 4,099   | 水路上に未整備区間の歩道を整備しました。<br>L=17.5m・W=1.5~3.2m |
| 旧御園教員住宅解体事業           | 6,041   | 老朽化した御園教員住宅9棟を解体しました。                      |

#### ②地域活性化・経済危機対策臨時交付金 【平成21年度交付額：43,197千円】

| 事業名              | 事業費(千円) | 実施内容   |
|------------------|---------|--|
| 阿多田小、小方中学校耐震診断事業 | 7,140   | 旧建築基準の阿多田小学校校舎及び小方中学校校舎2棟の耐震診断(2次診断)を実施しました。   |
| 市道設計測量等事業        | 22,644  | 地域住民の安心・安全のための事業設計計画を行いました。  |
| ひかり児童クラブ設計事業     | 3,927   | 平成22年に建設予定のひかり児童クラブの実施設計を行いました。  |
| 元町雨水対策調査事業       | 1,329   | 適正な雨水処理を行うため、元町地区の排水設備の誤接続調査を実施しました。   |
| 航空写真撮影事業         | 8,400   | 市域全体の土地の現況を把握するため、平成21年12月に航空写真デジタル撮影を行い、写真地図データを取得しました。取得したデータは、税務地図情報システム及び法定外管理システムにセットアップしました。 |

#### ③地域活性化・公共投資臨時交付金 【平成21年度交付額：692,179千円】

| 事業名      | 事業費(千円) | 実施内容                               |
|----------|---------|------------------------------------|
| 自然公園整備事業 | 500,000 | 大願寺地区造成地の一部を、自然公園用地として一般会計が取得しました。 |

|                       |         |   |
|-----------------------|---------|---|
| 松ヶ原集会所建設事業<br>(21年度分) | 117,917 | 松ヶ原小学校閉校に伴い、新たに地区住民が集える場所として集会所を建設しました。   |
| 新町元町1号線道路改良事業         | 5,476   | 道路側溝をU型からL型に改良し路肩の有効幅員を広くし、歩行者等の安全を確保しました。L=290.02m                             |
| 後原1号線道路改良事業           | 2,999   | 大雨時に冠水する区間を嵩上げし、通行できるよう整備しました。L=85.28m・盛土290m <sup>3</sup> ・舗装469m <sup>2</sup> |
| 東栄2号線道路改良事業           | 4,829   | 下水道の雨水対策事業に併せ、開渠を暗渠化することで道路幅員を広くしました。L=106.4m                                   |
| 新町17号線道路測量設計事業        | 989     | 見通しの悪い交差点を改善するための測量設計業務を行いました。測量業務1式・設計業務1式                                     |
| 財政調整基金への積立            | 108,858 | 平成23年度までに実施する地方単独事業の財源として、財政調整基金に積み立てを行いました。                                    |

④広島県元気づくり緊急交付金 【平成21年度交付額：45,000千円】

| 事業名           | 事業費(千円) | 実施内容   |
|---------------|---------|--|
| 斎場火葬炉設備改修事業   | 8,846   | 3基ある火葬炉中、2基は平成18・20年度にオーバーホールが終了。最後の1基が今年度終了しました。            |
| 新町3号線歩道床版改良事業 | 24,167  | 既設歩道の老朽化で危険度の高かった歩道を改良し、併せてバリアフリー化することで高齢者等の安全も確保しました。L=118m |
| 市営住宅解体事業      | 20,380  | 空家になっていた市営住宅(平屋)35戸を解体しました。                                  |
| 市営住宅等屋上防水事業   | 3,381   | 市営住宅白石7号アパート及び集会所の屋上防水を行いました。                                |
| 教員住宅解体事業      | 2,859   | 老朽化した松ヶ原教員住宅、阿多田教員住宅、栗谷教員住宅2棟を解体しました。                        |
| 総合市民会館等屋上防水事業 | 16,936  | 総合体育館及び図書館の屋上既設アスファルトシート防水改修を行いました。施工面積：2,407m <sup>2</sup>  |

⑤広島県緊急雇用対策基金事業補助金 【平成21年度交付額：16,234千円】

| 事業名                | 事業費(千円) | 実施内容                      |
|--------------------|---------|---------------------------|
| 河川雑木雑草等除去事業        | 6,240   | 河川・水路の雑草等除去               |
| 林道周辺枯木伐採事業         | 2,496   | 林道雑木等の除去                  |
| 学校安全確保及び教育環境整備推進事業 | 2,793   | 児童・生徒安全確保及び学校教育環境整備       |
| 小学校栄養・衛生指導推進事業     | 801     | 児童に対する食及び衛生に関する指導         |
| 市営墓地周辺雑木等除去事業      | 533     | 市営墓地周辺の雑木等除去              |
| 公害防止パトロール事業        | 715     | 不法投棄防止等のためのパトロール実施        |
| 閉所保育所環境整備事業        | 1,200   | 閉所中保育所の樹木剪定や雑草除去          |
| 晴海臨海公園不法投棄等対策事業    | 1,460   | 晴海臨海公園・周辺雑草・樹木等除去、公園パトロール |